『アルプラクラス』『アリッツ』
3本レール3枚引き窓用キックハンドル　組立取付説明書

説明書番号
MN−1702
表

製品構成

- 3本レール3枚引き窓枠
- 3本レール3枚引き窓障子

＋

- キックハンドル（R）
- キックハンドル（L）

or

- キックハンドル戸先錠（R）
- キックハンドル戸先錠（L）

＋

- 取付け部品セット（3本レール3枚引き窓用）

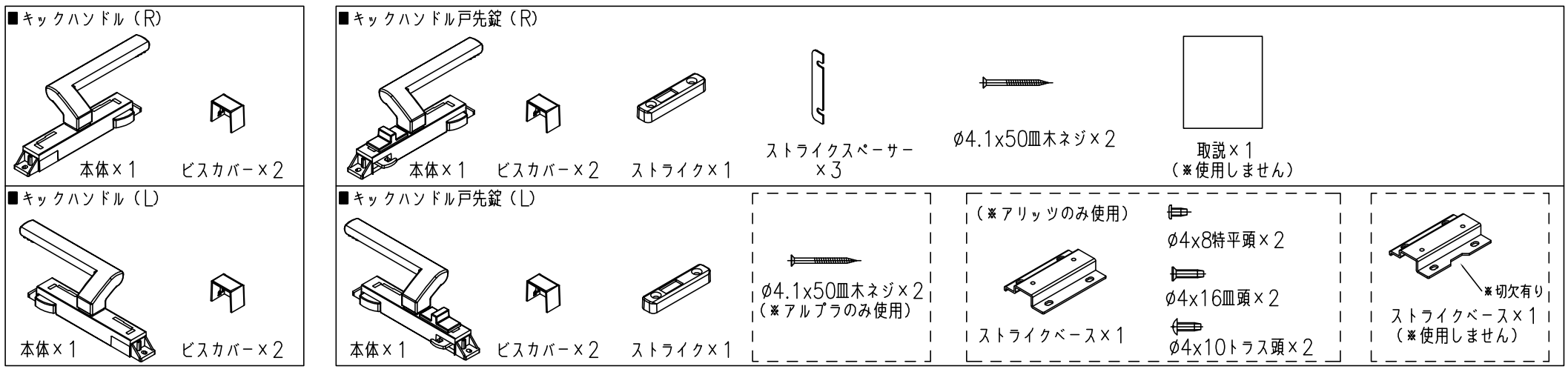
お願い 上框一体換気框を取付けた場合、本商品を取付けることができません。
別体換気框をお使い頂くようお願い致します。

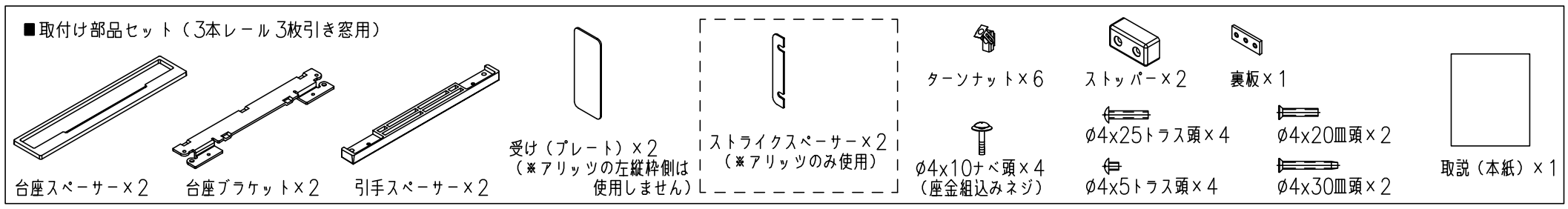
本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を
未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていただく事」を示しています。

内容明細

お願い 「アルプラクラスK4 3本レール3枚引き窓」と「アリッツPG 3本レール3枚引き窓」に取付ける場合、使用する部品が異なります。
下記明細をご確認の上、必要な部品をお使い下さい。





用意する工具

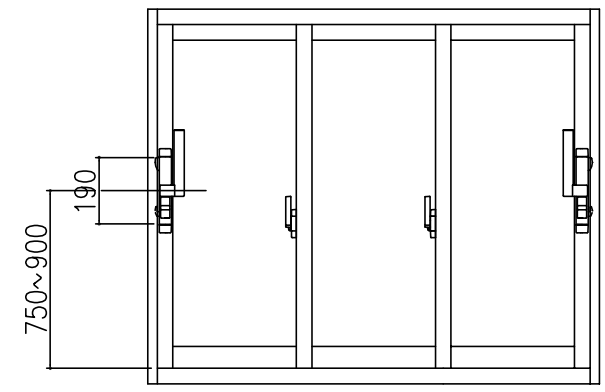
メジャー、ノギス、ドリル（φ3.5、φ4.5、φ8）

戸先錠取付け位置の確認

お願い 取付け孔が外側の船底引手にかからないようにして下さい。（ターンナットでは固定できません。）

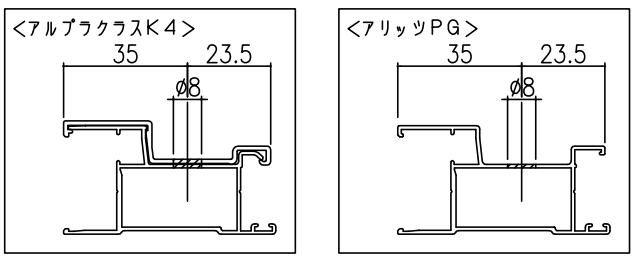
お願い 内観側のみ取付が可能です。（外側は網戸が使用できなくなります。）

お願い キックハンドルを座金組込みネジでビス止めする際に手廻しドライバーをご使用下さい。
締め付けトルクの強い充電式ドライバーを使用されると
ネジ持ちが空回りしネジが効かなくなる恐れがあります。



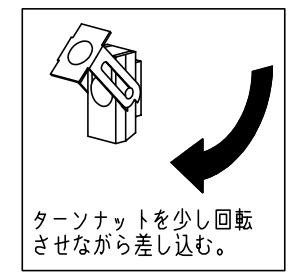
キックハンドルの取付け

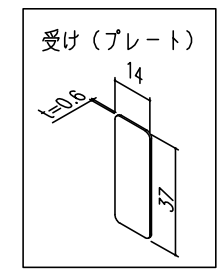
1．縦框にキックハンドルの取付け位置出しを行い
　下図を参照し孔明け加工（ドリルφ8）を行います。【図−1】



お願い 框を貫通させない様注意して孔明け加工を行って下さい。

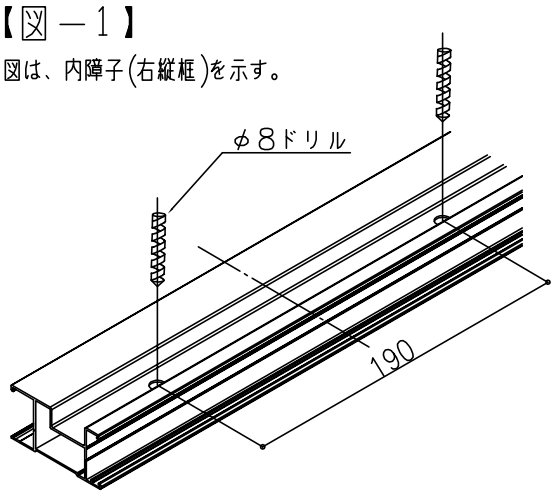
2．ターンナットを下図のように框L方向に平行に少し回転させながら加工孔へ差し込みます。
3．引手スペーサーを所定の位置に設置します。【図−2】
　方向性がありますので向きに注意して下さい。
4．スペーサー取付けビスで台座ブラケットを取付けます。
　取付けビスを一旦逆転（1～2回）させ
　→正転しネジ込みます。
5．台座スペーサーをブラケットに嵌め込みます。【図−3】
6．座金組込みネジでキックハンドルを取付けます。
7．ビスカバーを上方向より差込みます。
8．受け（プレート）をキックハンドルの蹴り出し部に合わせ貼付けて下さい。



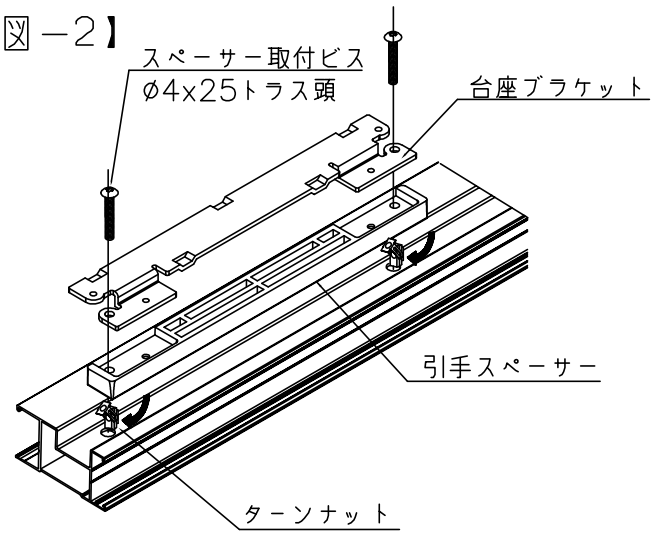


お願い キックハンドルをアリッツで使用する場合、左縦枠側に
受け（プレート）を貼付けないで下さい。

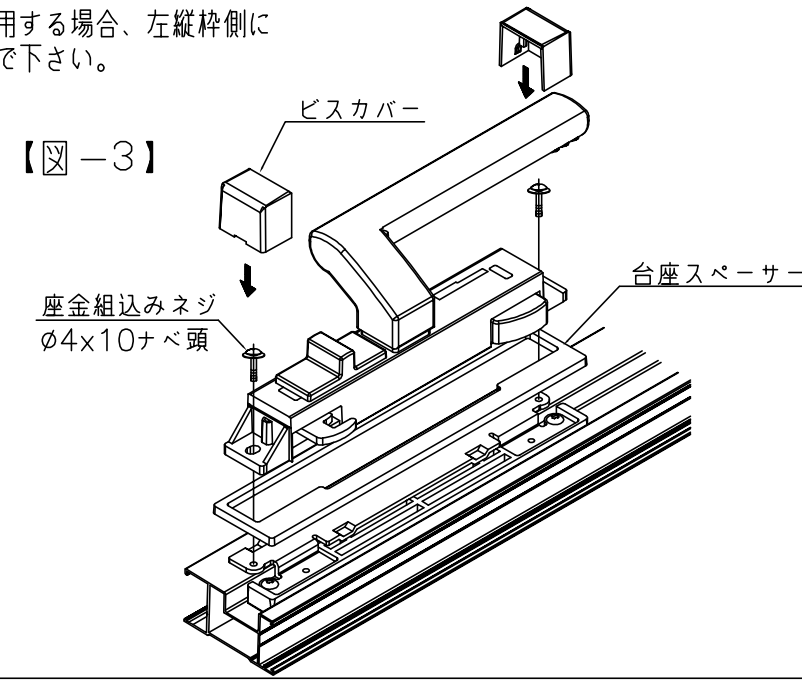
【図−1】
図は、内障子(右縦框)を示す。



【図−2】



【図−3】

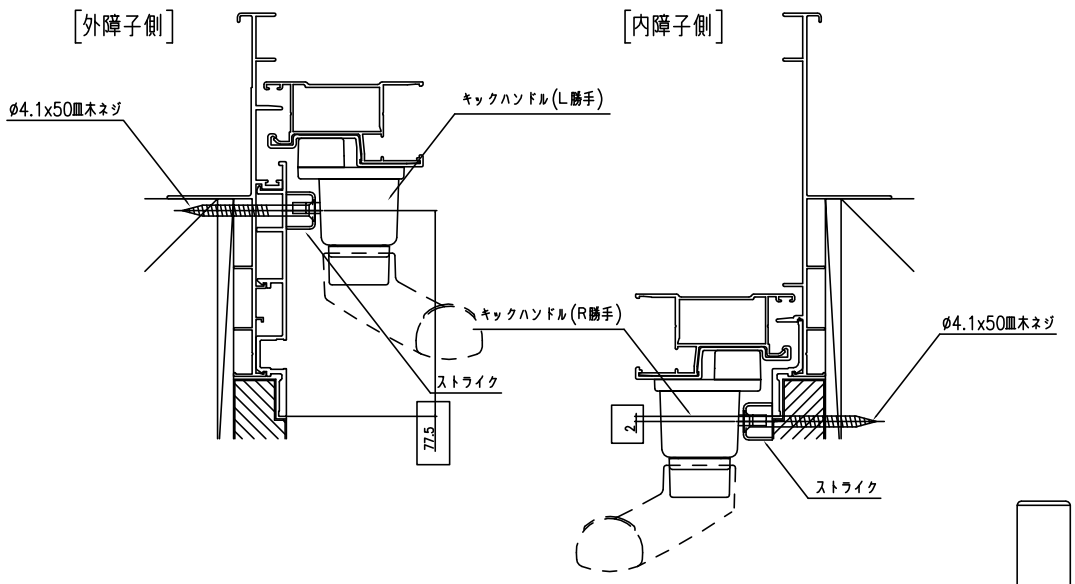


説明書番号
MN−1702
裏

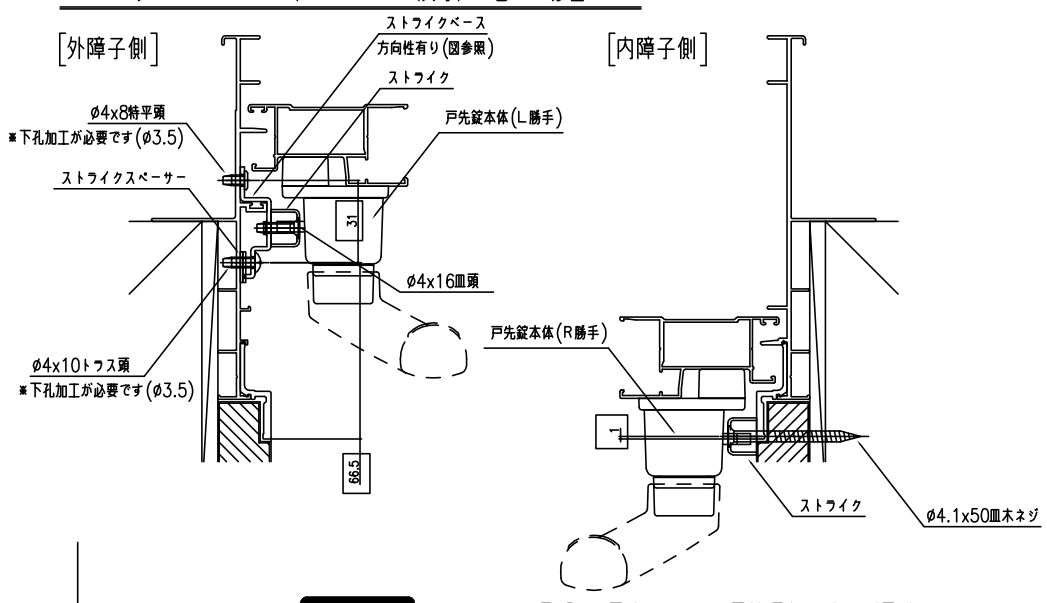
◪ ストライクの取付け（※戸先錠付のみ）

お願い ストライクの取付けはキックハンドル（戸先錠付）を取付けた後に行って下さい。

■アルプラクラスK４・３本レール３枚引き窓の場合



■アリッツＰＧ・３本レール３枚引き窓の場合

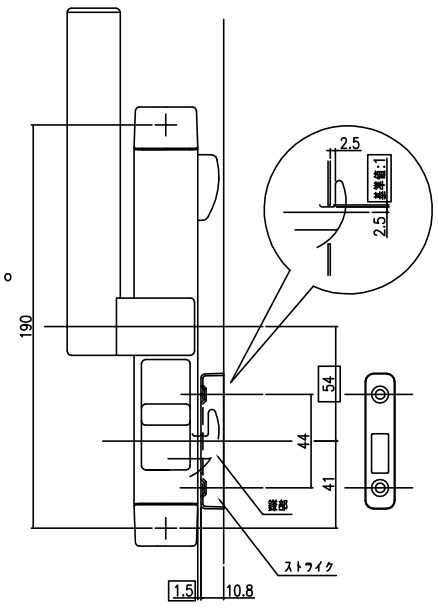


お願い ストライクベースを取付ける際に下孔加工（ドリルø3.5）が必要です。

お願い ストライクを取付ける前に鎌の作動を確認し、位置出しを行って下さい。

１．戸先錠に合わせて縦枠にストライク取付け位置出しを行います。
外障子側（左縦枠）については、製品によって取付け方が異なります。
図を参照し孔明け加工及びビス止めを行って下さい。

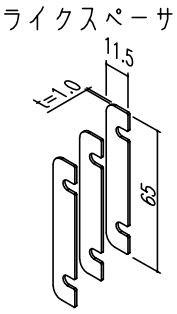
■ストライクの取付け高さについて（内、外共通）
ストライクの高さ位置は、下図を参考に取付けて下さい。
鎌とストライクとのクリアラスは１ｍｍとします。



お願い アリッツPG・3本レール3枚引き窓の場合は、
ストライクベース下に同梱のストライクスペーサーを2枚挿み、高さ調整を行って下さい。

お願い 額縁にしゃくりが無い場合は、同梱の
ストライクスペーサーにて高さ調整を行って下さい。

ストライクスペーサー



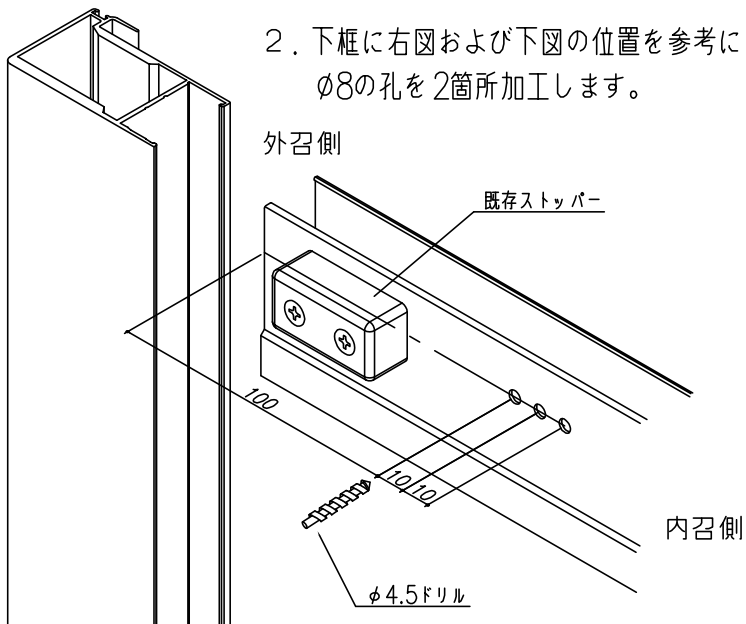
◪ ストッパーの取付け

お願い キックハンドルを内観左框に取付ける場合は、中央障子の上下框に
ストッパーを取付けて下さい。（外観側、既存ストッパーの横）

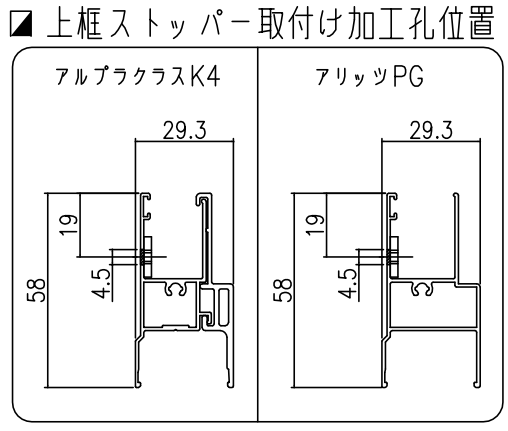
お願い 框を貫通させない様注意して孔明け加工を行って下さい。

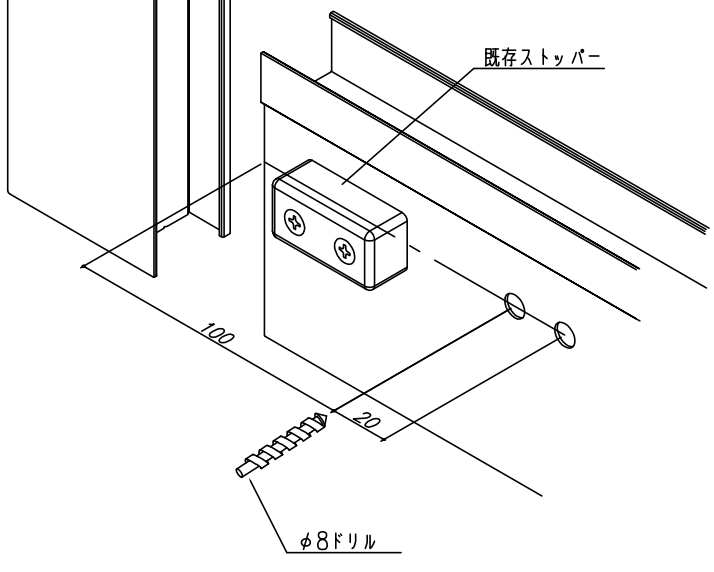
１．上框に右図および下図の位置を参考に
ø4.5の孔を3箇所加工します。

２．下框に右図および下図の位置を参考に
ø8の孔を2箇所加工します。

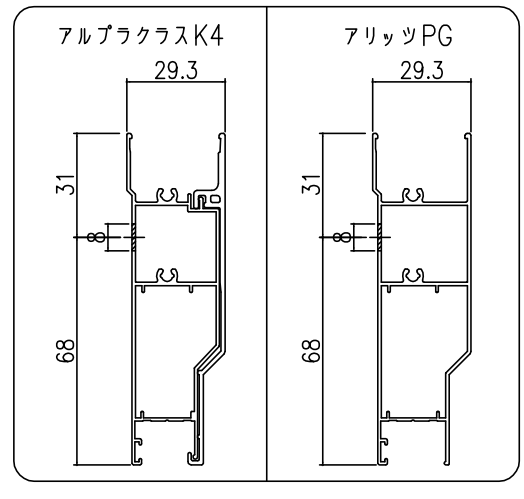


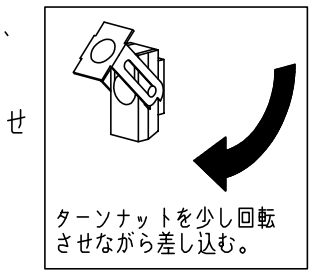
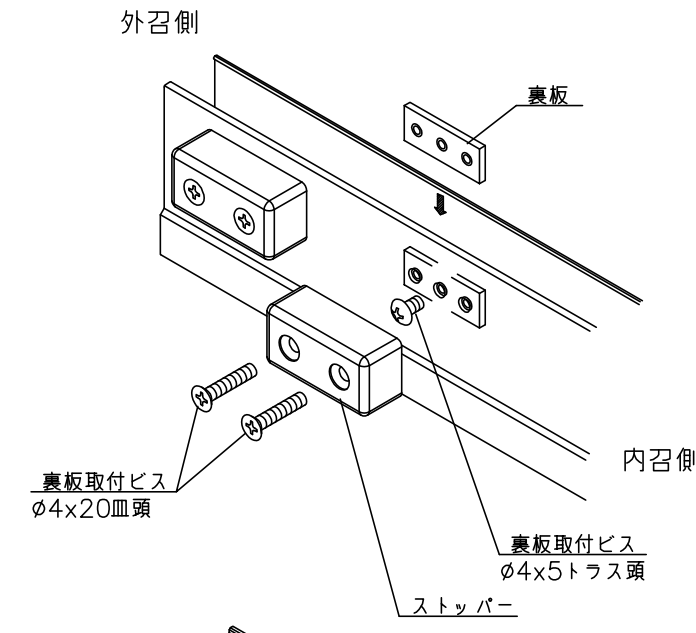
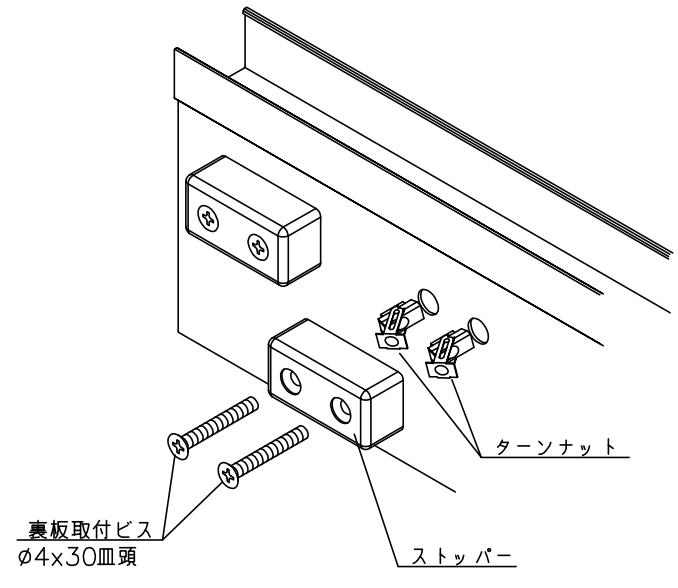
◪ 上框ストッパー取付け加工孔位置





◪ 下框ストッパー取付け加工孔位置



３．上框に裏板をビス固定し、ストッパーを
ビスで固定します。

４．下框の加工孔にターンナットを挿入し、
ストッパーをビスで固定します。
取付けビスを一旦逆転（１～２回）させ
→正転しネジ込みます。